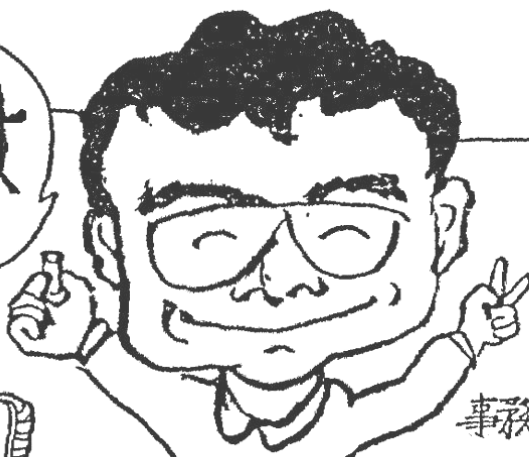


こんにちは

日本共産党
県議会活動報告
週刊ニュース

2013年3月31日 NO.751



きらとみひに

吉良富彦です

事務所 吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

短大廃止と学力テスト 関連予算削除求む

日本共産党提案も 常任委員会で否決

今県議会
に、短大廃
止を前提に

した県立大学永国寺キャンパスへの校舎建築予算案が提出されました。学生の9割以上が県内出身者で占められている短大廃止は、県民の学ぶ場と機会を奪うものです。県から示された入学定員でも、現在120名(1学年)の90名が切り捨てられることとなります。



3月16日に開催された「やっぱり高知には必要・夜間の短期大学」県民集会

予算が審議された文化厚生常任委員会で、関連予算の減額修正案を提出しましたが、日本共産党だけの賛成で否決されました。閉会日、27日の本会議にも削減する修正案を提出します。

際限のない 点数競争へ

小6と中3生対
象の全国学力テス
トの点数を上げる

ことを目的にしたような県独自の学力テストが、本年度実施された中学校2年生、小学校5年生に加え、来年から中1と小4からも実施するという予算案が提出。テストの点数を上げるための单元テスト強要、正規の事業時間を割いた回答の記入方法訓練、休業中に児童を登校させ過去問題の反復練習など、数値で子どもを追いつける弊害が出ています。本事業予算を削除する修正案を総務委員会で提案しましたが、共産党だけの賛成で否決されました。

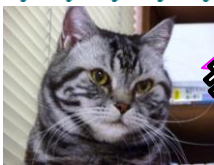
私たちは、最終日27日の本会議に上の短大廃止前提の建設費削除と合わせた修正案を提出し、県民の要求実現にむけ奮闘します。

【暴力団排除・真相究明の決議案提出します】

●土佐電気鉄道株式会社の会長の西岡寅八郎県議(自民)が社長と同席し、暴力団「侠道会」や組長の名を語って特定の株主にあたっていたことが判明。事業者が「暴力団を利用してはならない」としている県の暴力団排除条例に抵触する恐れがある。●共産党県議団は土佐電関連の補助金や事業費執行の凍結を求めるとともに、土電はもとより、西岡議員自らも県民への説明責任を果たし出処進退を明らかにすべきとの決議案提出を準備。

●この私たちの毅然とした動きに、院外における経済活動なので西岡議員に措置をすることにはならない」と言っていた武石議長(自民)は態度を変え、私たちに相談に来た。結果、議事各会派はもとより当該議員自らが真相究明にあたる責務を課す内容を持つ決議案文にすることで合意。27日最終日、全会一致で可決の見通し。

オンライン にゃんでも通信



ていた武石議長(自民)は態度を変え、私たちに相談に来た。結果、議事各会派はもとより当該議員自らが真相究明にあたる責務を課す内容を持つ決議案文にすることで合意。27日最終日、全会一致で可決の見通し。